



令和4年11月15日
統合幕僚監部

令和3年度自衛隊の災害派遣及び不発弾等処理実績について

1 全般

令和3年度の災害派遣の派遣件数は383件、総活動人員は延べ約45,000人でした。そのうち、主要なものとしては①静岡県熱海市における令和3年7月1日からの大雨に係る災害派遣、②令和3年8月からの大雨に係る災害派遣、③新型コロナウイルス感染症の市中感染対応に係る災害派遣、④特定家畜伝染病に係る災害派遣、⑤山林火災に係る災害派遣等を実施しました。

また、不発弾等処理の実績については、陸上において発見された不発弾等の処理件数は1,255件、処理重量は約31.9トン、海上における機雷の処理は実績なし、海上におけるその他の爆発性危険物の処理個数は2,646個、処理重量は約4.0トンでした。

2 令和3年度の主要な災害派遣

(1) 静岡県熱海市における令和3年7月1日からの大雨に係る災害派遣

令和3年7月1日以降降り続いた大雨の影響で、同月3日午前、静岡県熱海市内の住宅地域で土石流が発生したことから、活動人員延べ約27,000人（うち、現地活動人員延べ約11,000人）により、人命救助活動、被害情報収集、道路啓開等を実施しました。

(2) 令和3年8月からの大雨に係る災害派遣

令和3年8月上旬から降り続いた大雨のため、九州地方において河川の氾濫、浸水被害、土砂災害などの被害が発生したことから、長崎県雲仙市、佐賀県武雄市及び大町町において、現地活動人員延べ約3,700人により、人命救助活動を実施しました。

(3) 新型コロナウイルス感染症に係る災害派遣等（市中感染対応）

新型コロナウイルス感染症に関して、市中感染対応に係る災害派遣等として、現地活動人員延べ約1,600人により、医療機関への看護官等の派遣や、自治体職員等への感染防止に係る教育支援等を実施しました。

(4) 特定家畜伝染病（鳥インフルエンザ及び豚熱）に係る災害派遣

鳥インフルエンザの発生に対し、現地活動人員延べ約2,200人により鶏の殺処分を実施しました。また、豚熱の発生に対し、現地活動人員延べ約4,400人により、豚の殺処分等の支援を実施しました。

(5) 山林火災に係る災害派遣

山林火災の発生に際し、自治体により消火活動を実施するも鎮火に至らなかったものについて、現地活動人員延べ約860人により、空中消火活動等を実施しました。

添付書類：令和3年度自衛隊の災害派遣及び不発弾等処理実績について

JOINT STAFF PRESS RELEASE

<http://www.mod.go.jp/js/>

令和3年度における自衛隊の災害派遣 及び不発弾等処理実績について



令和4年11月
統合幕僚監部

1 災害派遣

- (1) 令和3年度に実施した主要な災害派遣
- (2) 災害派遣活動人員数の推移
- (3) 災害派遣件数（活動種類別）の推移（過去10年間）
 - ① 急患輸送実績
 - ② 消火活動実績
 - ③ 搜索救助実績

2 不発弾等処理

- (1) 陸上において発見された不発弾等処理実績の推移
- (2) 海上における機雷等処理実績の推移



1 災害派遣

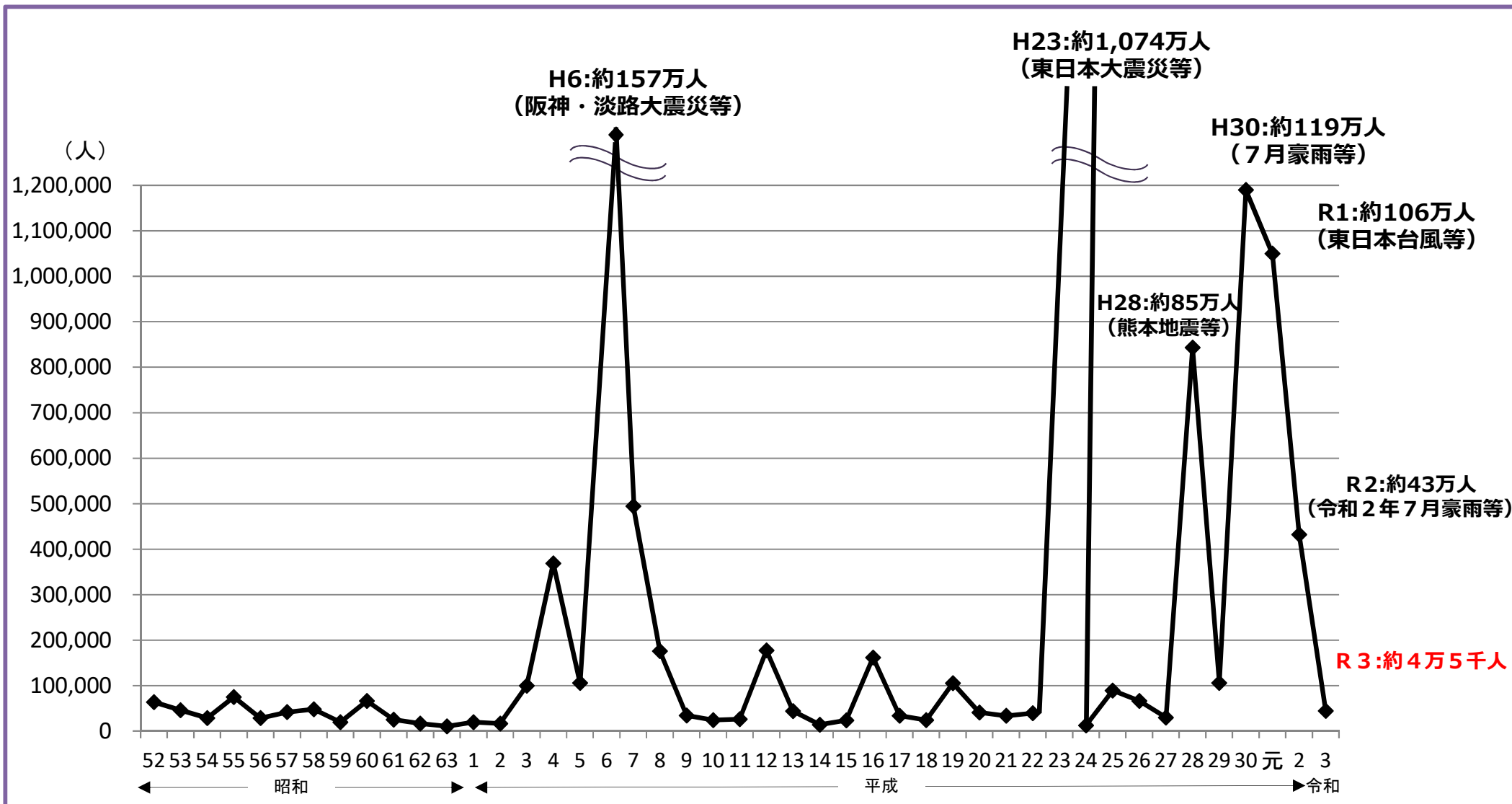
令和3年度に実施した主要な災害派遣

件 名		現地活動人員 (延べ)	時 期	活動地域	活動内容等
静岡県熱海市における令和3年7月1日からの大雨にかかる災害派遣		約11,000人	7月3日(土) ～7月31日(土)	・静岡県	・人命救助 ・被害情報収集 ・連絡員の派遣 等
令和3年8月からの大雨にかかる災害派遣		約3,700人	8月13日(金) ～8月19日(木)	・青森県 ・福岡県 ・佐賀県 等	・行方不明者搜索 ・被害情報収集 ・給水支援 等
新型コロナウイルス感染症の市中感染対応に係る災害派遣等		約1,600人	2021年4月 ～2022年3月	・北海道 ・大阪府 ・沖縄県 等	・医療支援 ・教育支援 ・急患輸送
特定家畜伝染病 (鳥インフルエンザ、 豚熱(CSF))に係る災害派遣	鳥インフルエンザ	約2,200人	2021年4月 ～2022年3月	・秋田県 ・兵庫県 等	・殺処分 等
	豚熱(CSF)	約4,400人	2021年4月 ～2022年3月	・群馬県 ・三重県 等	
山林火災に係る災害派遣		約860人	2021年4月 ～2022年3月	・茨城県 ・群馬県 等	・空中消火

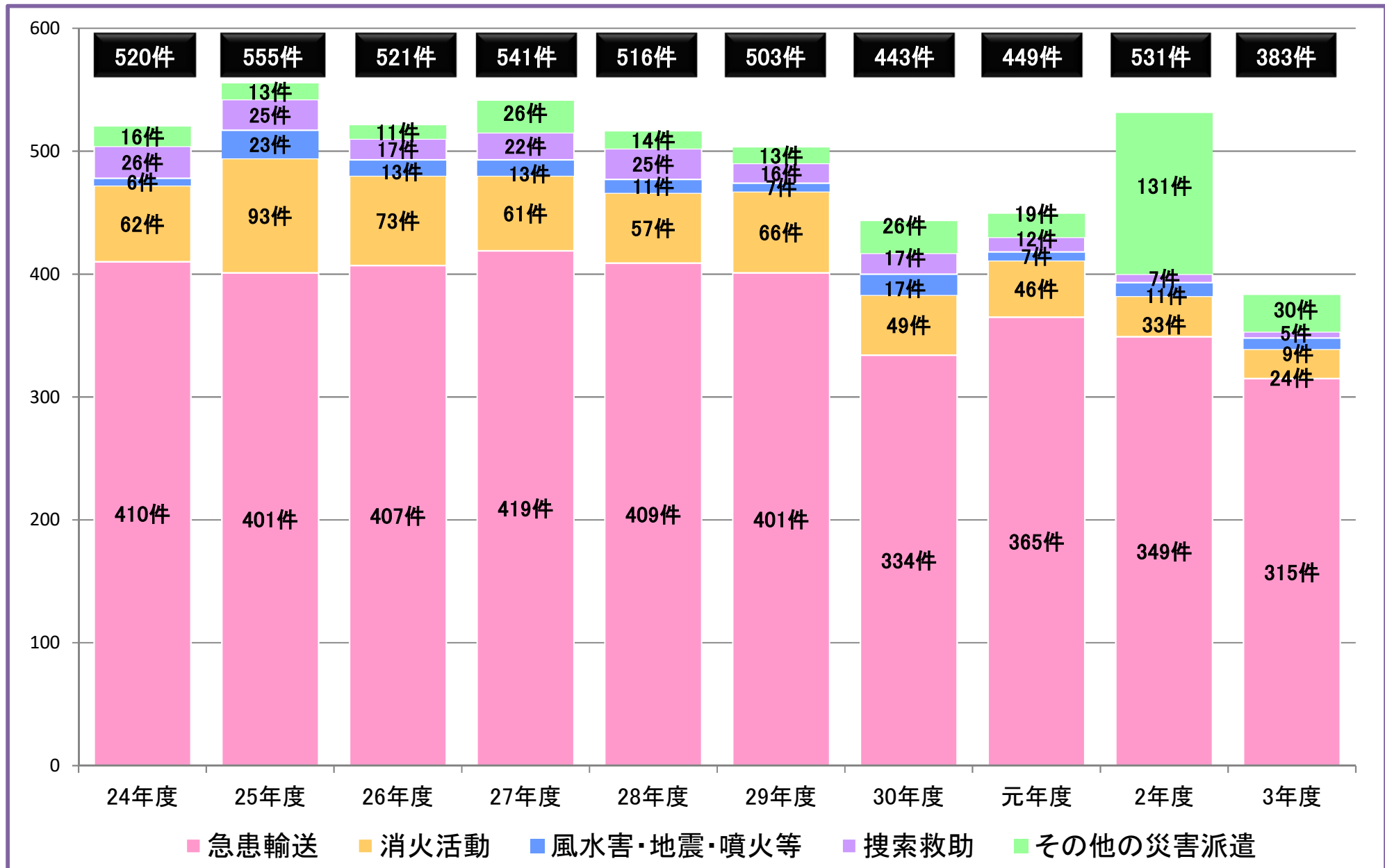


災害派遣活動人員数の推移

令和3年度は、延べ活動人員**約4万5千人**をもって災害派遣活動に従事



災害派遣件数※(活動種類別) の推移 (過去 10 年間)



※ 新型コロナウイルス関連の活動として、一般命令、官庁間協力による教育支援も含めた件数

① 急患輸送実績

■ **令和3年度総件数： 315件**

例年同様、島しょ地域の多い県（沖縄県、鹿児島県及び長崎県）からの要請の占める割合が大

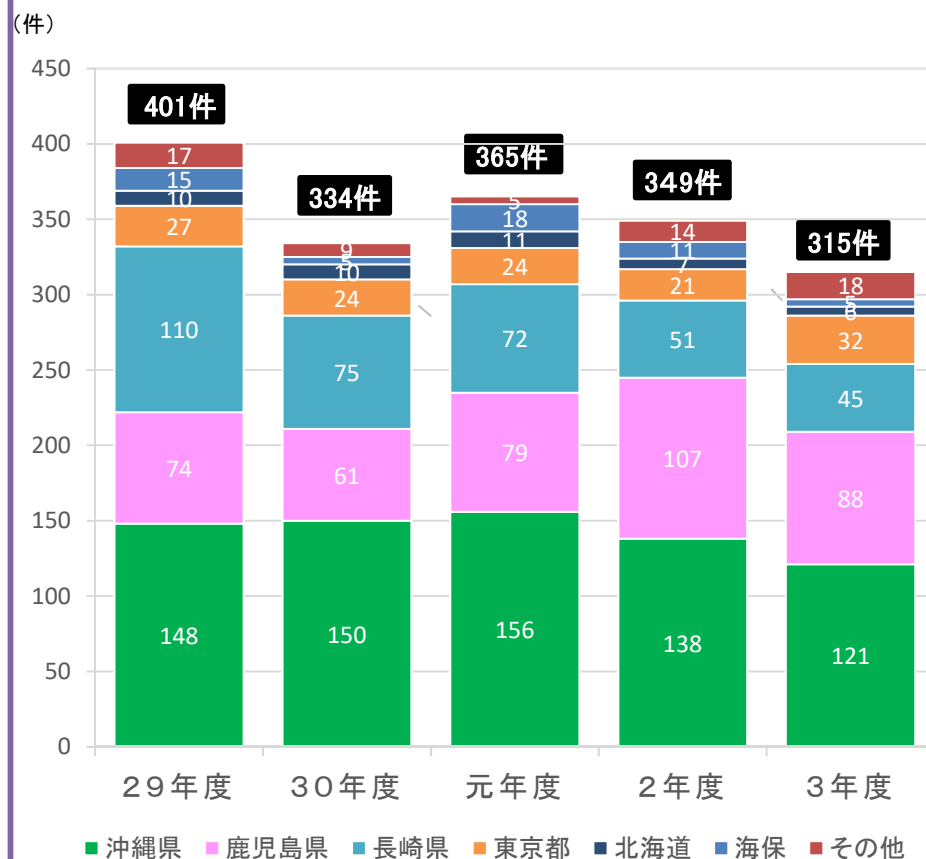


海自US-2による急患輸送

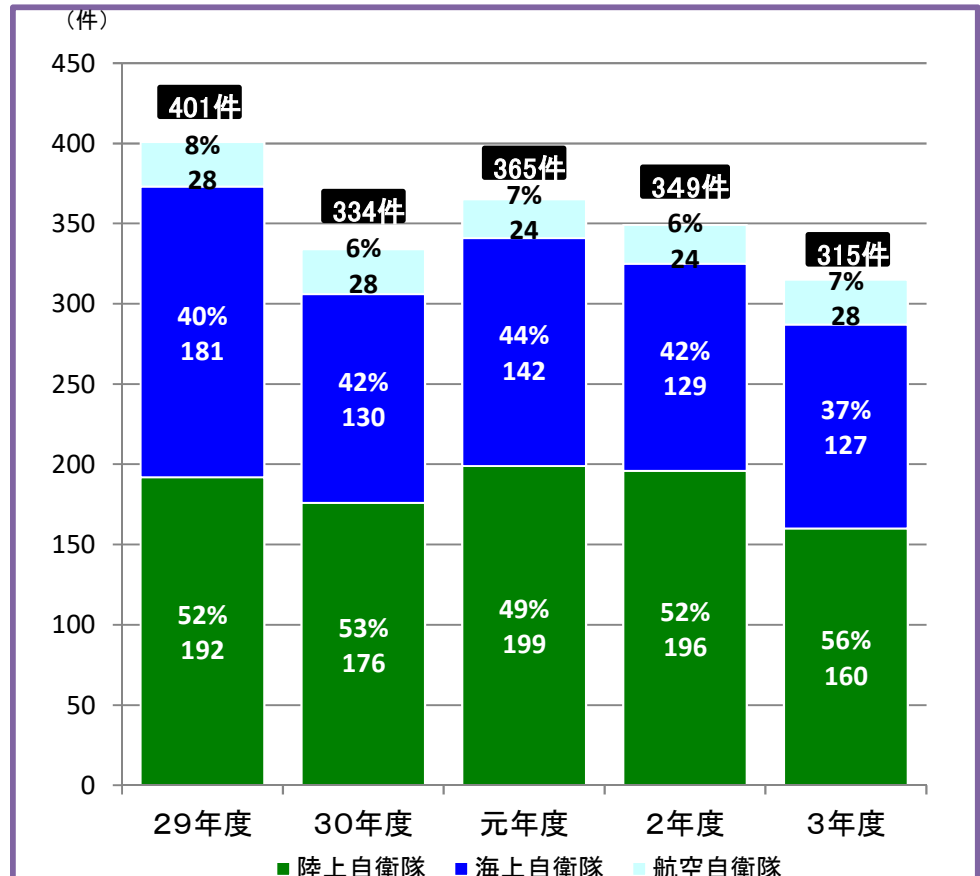


陸自CH-47による急患輸送

件数及び要請都道府県等別実績推移



陸・海・空自衛隊別実績推移

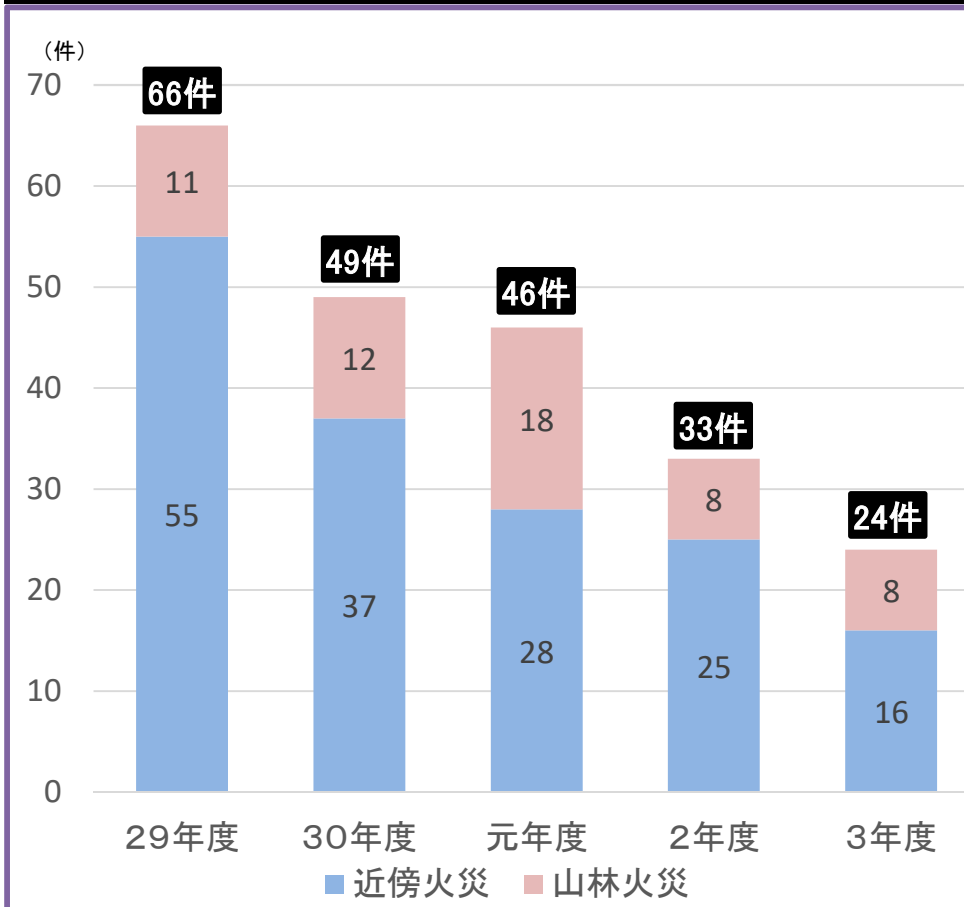


② 消火活動実績

■ 令和3年度総件数：24件

山林火災の件数は昨年度と同程度であり、
近傍火災の件数は減少傾向

件数年度別実績推移（過去5年間）

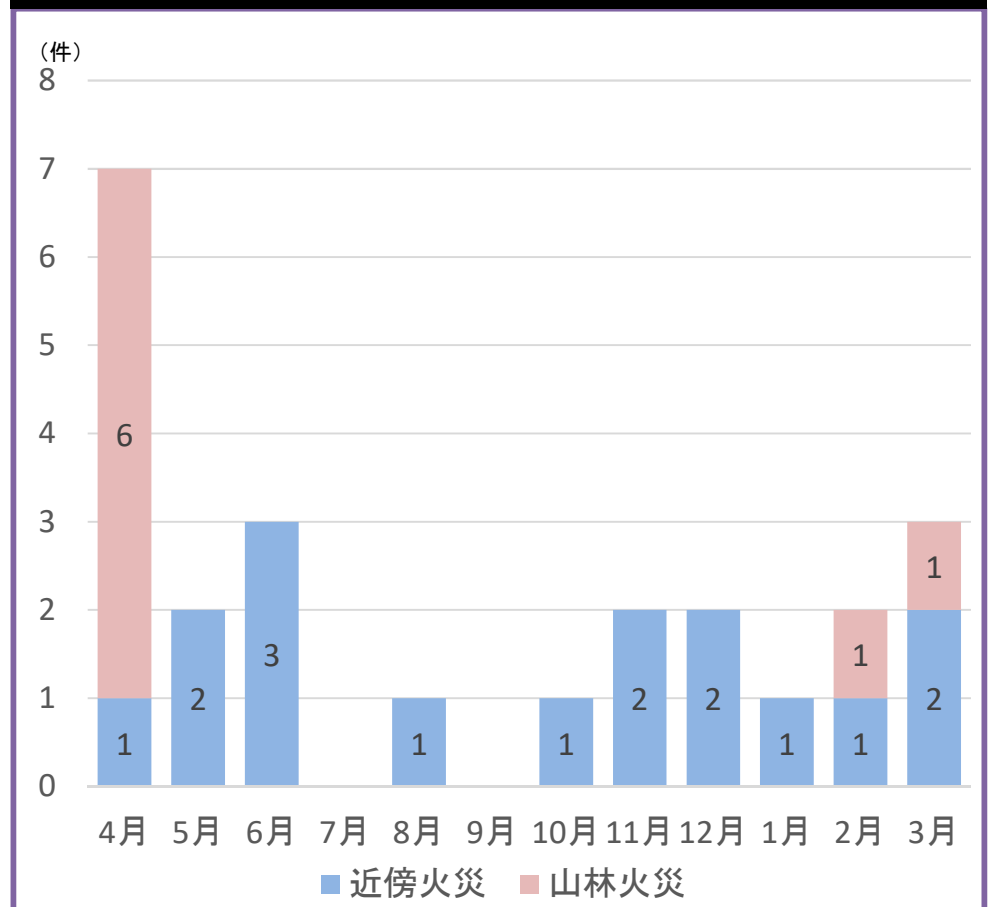


取水中の陸自CH-47



陸自CH-47による上空からの散水

令和3年度の活動件数月別実績



③ 搜索救助実績

■ 令和3年度総件数：5件

例年に比し、搜索救助の件数は
減少

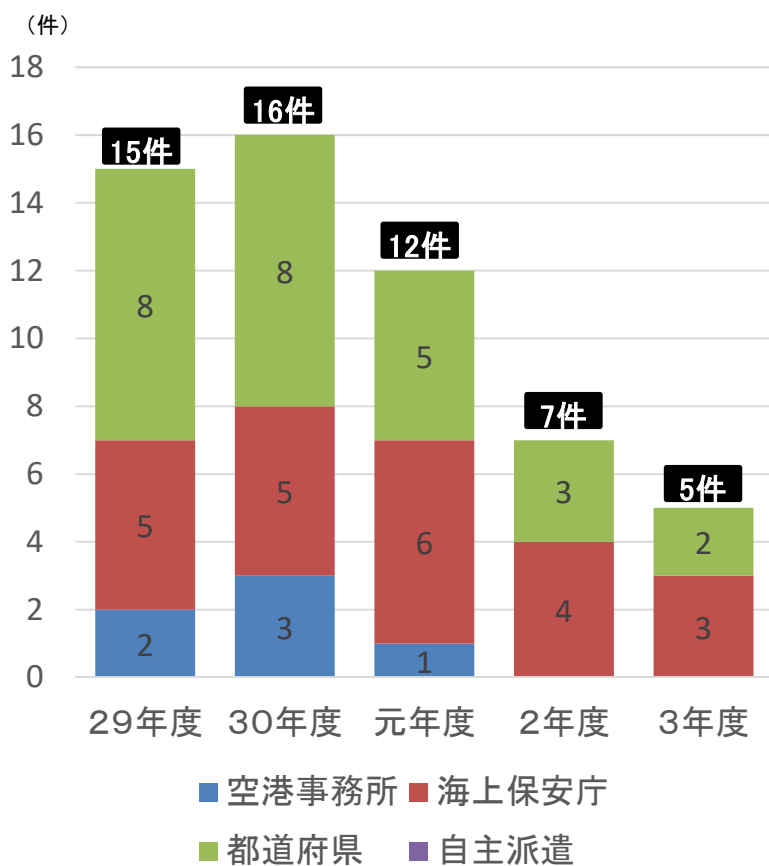


行方不明者搜索



行方不明者搜索

件数年度別実績推移（過去5年間）



令和3年度の要請機関別実績：7件

区分	件数	要請元	種 類	主な活動部隊
都道府県	2件	栃木県知事 鳥取県知事	行方不明者搜索	第12特科隊(宇都宮) 第12ヘリコプター隊(北宇都宮) 第8普通科連隊(米子)
海上保安庁	3件	第六管区 第十管区 第十一管区	・行方不明者搜索、救助	第24航空隊(小松島) 第111航空隊(岩国) 第22航空隊鹿屋分遣隊(鹿屋) 那覇救難隊(那覇)



2 不発弾等処理

陸上において発見された不発弾等処理実績の推移

令和3年度の処理実績

区 分	処理件数	処理重量
全 国 (沖縄含む)	1, 255件	約31. 9トン
沖 縄	423件	約11. 5トン

- 戦後の時間経過に伴い、処理件数・処理重量ともに減少
- 処理件数及び処理重量ともに沖縄県の全国に占める割合が大きく、令和3年度は処理件数の約34%、処理重量の約36%

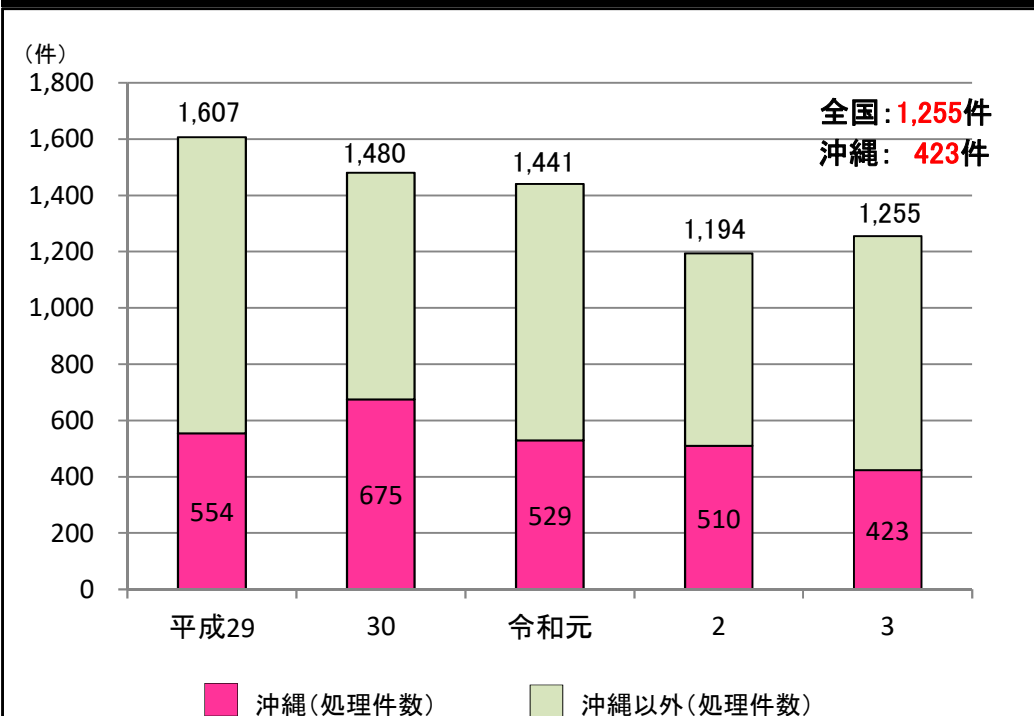


発見された不発弾等

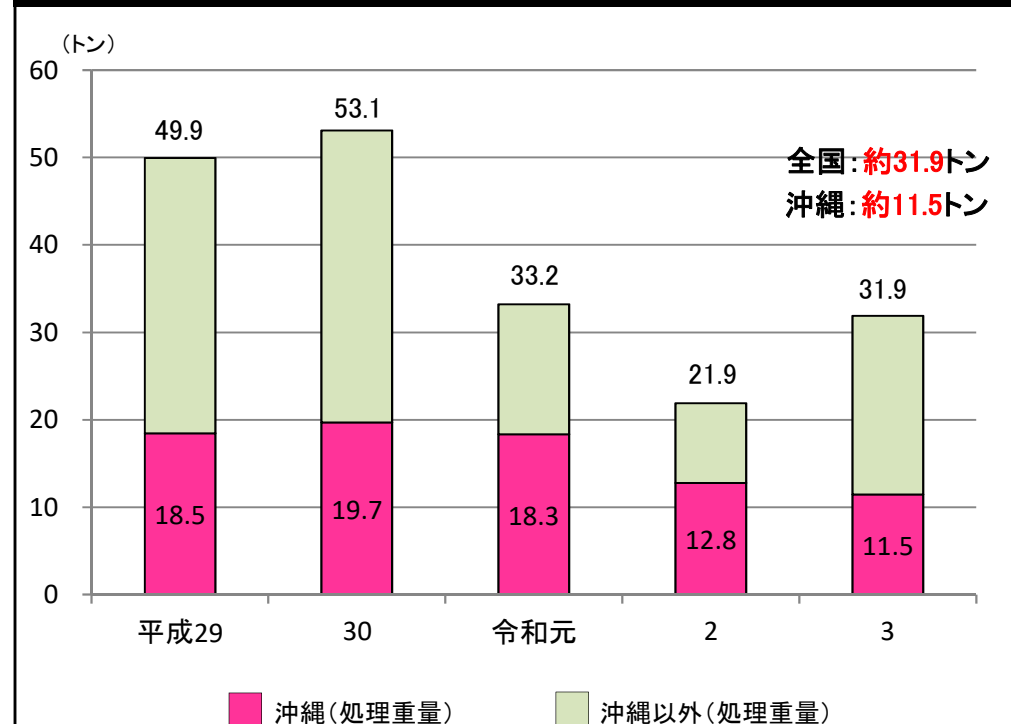


識別作業

不発弾等処理件数の推移



不発弾等処理重量の推移



海上における機雷等処理実績の推移

令和3年度の処理実績

区 分	処理個数	処理重量
機 雷	実績なし	実績なし
その他の爆発性危険物(魚雷、爆雷、爆弾、砲弾等)	2,646個	約4.0トン

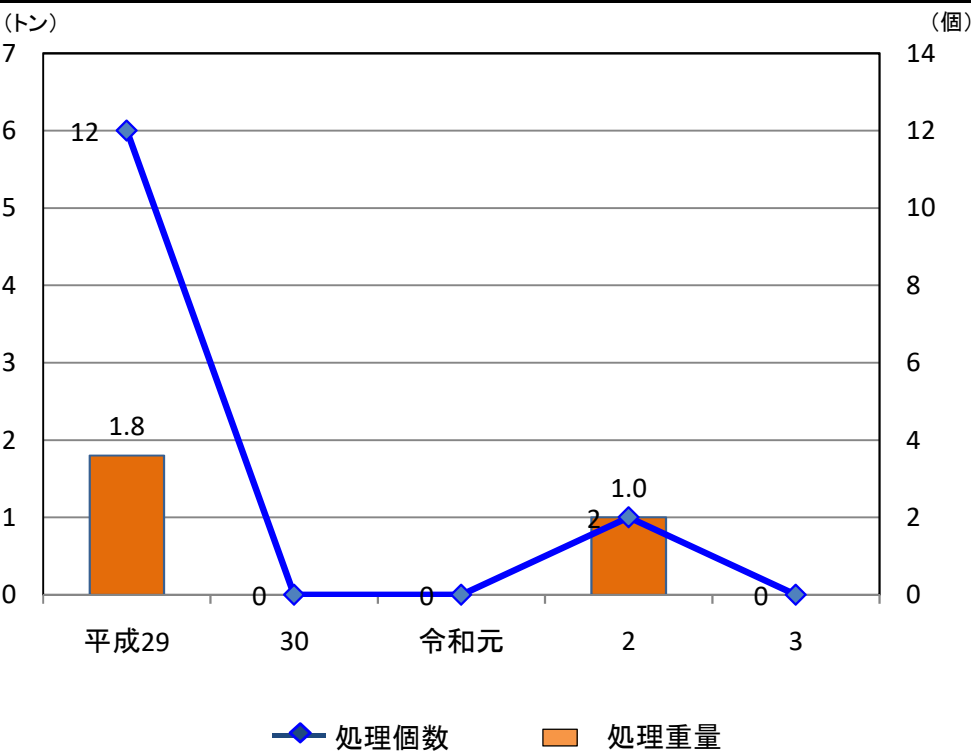


発見された爆発性危険物



水中爆破の状況

① 機雷の処理個数及び重量の推移



② その他の爆発性危険物の処理個数及び重量の推移

